

Chronos

クロノス日本版

ジン103

ファーストモデルと
現行モデルを徹底比較

7月号
JULY.

第89号
2020 no.089

過酷な環境への挑戦
エクストリームウォッチ
最前線

[連載コミック]
腕時計
パラノイア列伝

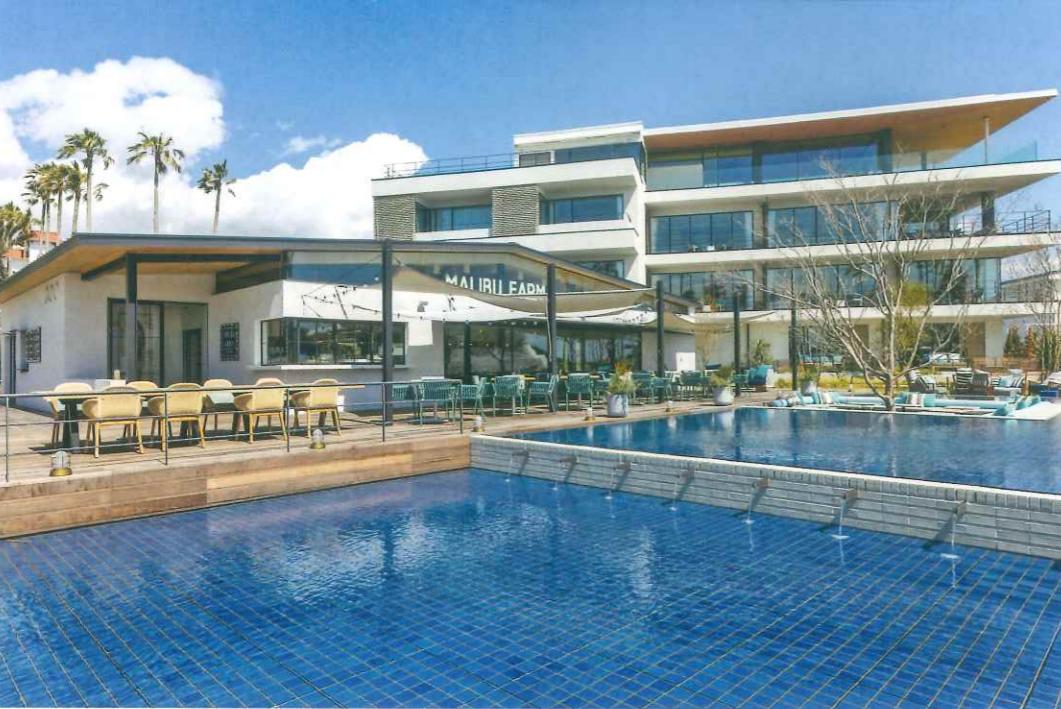
第37回
「夢、をかたちにする
魔術師
ルカ・ソプラナ」

[TEST ドイツ版翻訳記事]
タグ・ホイヤー
「タグ・ホイヤー モナコ
キャリバー ホイヤー02
クロノグラフ」
ティソ
「ティソ ヘリテージ
1973」

2020年新作詳報



希 望 を 灯 す
新 作 時 計



(右)1階にある愛犬と宿泊できる客室「プライベートヴィラ」も人気。手前は、日本初上陸した米国ロサンゼルスで人気を誇るレストラン「マリブファーム」。
(左)チェックイン時に提供される季節ごとに替わるフレッシュフルーツのウエルカムドリンクとスイーツ。



(右)寝室やキッチンなどを完備するホテルシップ。
(左)客室93m²、テラス51m²の「ザ・マリブ・スイート」(20万円~)。2方面に大きな窓があり、リビングとベッドルームを別々に設えている。最新のジェットバスで寛ぎのひと時を。



(上)「レストランAO（アオ）逗子マリーナ」シェフ渾身の「湘南しらすと青紫蘇のジェノベーゼ グルテンフリーパスタ」。[MENU OF CLAYD]からの一例。
(下)「CLAYD」のクレイパックとエサレンマッサージを組み合わせたスパのメニューは、120分(3万8000円)と75分(3万円)。

MALIBU HOTEL マリブホテル

神奈川県逗子市小坪5-23-16 リビエラ逗子マリーナ内
☎ 0467-23-0077
チェックイン15:00 / チェックアウト11:00 全11室
2名1室利用時の朝食付き料金8万4000円~
(税・サービス料込み)

大自然への扉をイメージしたロゴがエンタランスにデザインされ、ゲストを出迎えてくれる。50年の歴史を誇り、5万坪の敷地にハーバー・やレストランを有する「リビエラ逗子マリーナ」内に、わずか11室オールスイートの「マリブホテル」が誕生した。

チェックインは併設する日本初上陸となる「マリブファーム」のテラス席で、オリジナルのカクテルやジエラートで喉を潤しながら。なかでも人気のウオーターテラス席は一段下がった場所に腰を据えれば、目線の高さに水面が広がっていく。客室のテラスから外を望めば、遙かに広がる海に加え、その先にそびえる神々しい富士山と真正面に向き合うことができる絶好のアングルに。何気なく目をやる先の景色を最大限魅力的に映し出すことで、特別なことをしなくとも上質な滞在を演出している。

かつては海だったというこの地。客室のインテリアは、ロサンゼルスのインテリアデザイナー「デザイン」監修によるもので、ファブリックやオブジェは海を連想させてくれる。ホワイトオークの無垢の床を素足で歩きたくなってしまうのは、すぐそばに海を感じるからだろうか。ま

た、非常時や災害時には電気自動車からホテルフロントの照明やコンセントに電力が供給できるV2Bシステムを導入した日本初のホテルでもあり、近年よく耳にする「サステナブル」な試みを大切にしている。

カリフォルニアの砂漠地帯で採れるミネラル豊富なクレイのブランド「CLAYD」がプロデュースする「CLAYD SPA & MALIBU HOTEL」では、波と同じリズムで行うエサレンマッサージを組み合せた究極の癒しを。大自然どつないしておられるというホテルの理念を共有している。シグネチャーレストラン「リストランテAO逗子マリーナ」では、スパとのコラボレーションメニューを用意しているので、身体の内側と外側から本来あるべき状態を呼び覚ますことができる。

目の前のハーバーには、ホテルシップを有しており、クルージングのほか、スパ、食事、宿泊することも可能。海と共存する立地ならではのアクティビティも充実する。天候などのコンディションが揃えば、デイナー・や朝食などを最高のロケーションで用意してくれる「プライベートセッティング」も。すべて自然次第。扉の先には、大自然に抱かれ、身を委ねるような時間が待っている。

客室から望むサンセット。空気が澄んだ日は、江の島の向こうに富士山のシルエットがくっきりと浮かび上がる。雲や風のわずかな動きによって大きく変化する景色は、じっと見続けていても飽きることがない。

爽快な海風が吹き抜ける ハーバービューホテル

今年3月、歴史ある神奈川県・リビエラ逗子マリーナに、待望の宿泊施設「マリブホテル」が誕生した。古都・鎌倉から車で約10分、都心からも1時間以内で辿り着くことができる好立地ながら、目の前に広がる海と空、椰子並木、クルーザーやヨットが並ぶ景色は、米国ロサンゼルス屈指のリゾート地マリブの空気感たっぷりだ。全11室すべてが50m以上のオールスイートのスマートラグジュアリーホテルで、何もない贅沢なひと時を過ごしてみてはいかがだろうか。

外川ゆい・取材・文
Text by Yui Togawa
松川真介・写真
Photographs by Shinsuke Matsukawa

www.webchronos.net 132